

令和4年度 第4回 佐倉市高齢者福祉・介護計画推進懇話会
会 議 録

〔会議概要〕

日 時	令和5年3月14日（火） 午後2時00分から午後3時03分	
場 所	佐倉市役所内 議会棟2階第3委員会室	
会議次第	1. 開会 2. 福祉部長あいさつ 3. 議事 (1) 令和5年度 佐倉市地域包括支援センター運営方針（案）について (2) 第9期 高齢者福祉・介護計画策定に向けたスケジュール（案）について (3) その他 4. 閉会	
出席委員 （13名）	会 長 岩淵 康雄 （医師） 副会長 谷野 宏輝 （社会福祉協議会） 委 員 森本 功 （歯科医師） " 小川 美津子 （民生委員・児童委員） " 川崎 順子 （高齢者クラブ） " 大嶋 和俊 （施設介護サービス事業者） " 石原 隆広 （在宅介護サービス事業者） " 石原 茂樹 （公募市民） " 岡田 恭比呂 （公募市民） " 草場 孝志 （公募市民） " 千葉 憲司 （公募市民） " 根本 弘子 （公募市民） " 石川 雅俊 （学識経験者）	
欠席委員（1名）	委 員 田仲 知代 （ボランティア団体）	
事務局	福祉部長 亀田 満 高齢者福祉課長 田中 綾子 介護保険課長 向後 妙子 高齢者福祉課 生きがい支援班長 副主幹 金子 知子 包括支援班長 主 査 秋葉 直子 包括ケア推進班長 副主幹 開出 ゆかり 地域支援班長 主 査 須藤 克友 地域支援班 主査補 清水 直樹 介護保険課 介護給付班長 主 査 遠藤 慶子 介護資格保険料班長 主 査 今川 真木子 介護認定班長 副主幹 植木 隆太郎 書記 高齢者福祉課 生きがい支援班 主査補 檜垣 幸夫 生きがい支援班 主 事 小野寺龍祐	
その他	傍聴者 2名	

【発言要録】

発言者	内 容
○高齢者福祉課長	<p>【 開 会 】</p> <p>ただいまより「令和4年度 第4回 佐倉市 高齢者福祉・介護計画 推進懇話会」を開会いたします。</p> <p>本日の会議は、議事録作成のため録音をしておりますので、あらかじめご了承ください。</p>
○高齢者福祉課長	<p>【 資料確認等 】</p> <p>始めに、会議に使用する資料の確認をお願いいたします。</p> <p>本日の資料は、事前にお送りした資料として、会議の次第、議事(1)の資料1-1と資料1-2と、議事(2)の資料2でございます。</p> <p>資料の不足等はありませんでしょうか。</p>
○高齢者福祉課長	<p>【 福祉部長あいさつ 】</p> <p>次に、福祉部長からごあいさついたします。</p>
○福祉部長	<p>福祉部長の亀田でございます。 本日はお忙しいところ、ご出席を頂きありがとうございます。</p> <p>今日の懇話会では、地域包括支援センターの運営方針について、また、次期高齢者福祉・介護計画の策定に向けた予定などとなっております。</p> <p>委員の皆様方には様々な角度からご意見を頂き、事業を進めてまいりたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。</p>
○高齢者福祉課長	<p>では、ここからは、議事となりますので、佐倉市 高齢者福祉・介護計画 推進懇話会 設置要綱 第7条 第1項の規定に基づき、会長に議長をお願いいたします。</p>
◇会 長	<p>【 会議の成立等 】</p> <p>規定により、会長が、会議の議長を務めることとなっておりますので、これより私が進行をさせていただきます。</p> <p>当懇話会の設置要綱第7条第2項に「委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない」とあります。 本日は、田仲委員が所要により欠席ですが、委員の過半数が出席していますので、本日の会議は成立いたします。</p> <p>なお、本日の会議の内容は、公開することにより公正・円滑な議事運営が阻害されるものに当たらないため、会議は公開とし、傍聴を認めることといたします。よろしいでしょうか。</p>

発言者	内 容
◇会 長	<p>〔「異議なし」の声あり〕</p> <p>それでは、傍聴人に入室いただきてください。</p> <p>〔傍聴人入室、着席〕</p>
◇会 長	<p>傍聴人をお願いします。傍聴要領を確認いただき、会議進行へのご協力をお願いいたします。</p>
◇会 長	<p>【議事(1)】</p> <p>それでは、「議事1 令和5年度 佐倉市地域包括支援センター運営方針(案)について」です。</p> <p>それでは事務局の説明をお願いします。</p>
○高齢者福祉課(須藤)	<p>高齢者福祉課 地域支援班 須藤でございます。議題の1「令和5年度佐倉市地域包括支援センター運営方針(案)」について説明させていただきます。</p> <p>まず、運営方針案の説明の前に、前回の懇話会時には、まだ公表されていなかった事業評価の全国平均が公表されましたので、その結果及び佐倉市の評価結果を説明させていただき、その後、運営方針案について説明をさせていただきます。</p>
◇会 長	<p>〔以下、資料1-2を説明〕</p> <p>続きまして、資料1-1をご覧ください。</p> <p>令和5年度の包括支援センター業務の委託につきまして、介護保険法に基づき、本資料のとおり運営方針の案を作成いたしました。</p> <p>当案におきまして、内容の訂正と、令和4年度のものから変更となった部分について説明いたします。 ※添付資料1-1訂正済</p> <p>〔以下、資料1-1を説明〕</p>
◇会 長	<p>では、令和5年度 佐倉市地域包括支援センター運営方針(案)について、ご質問、ご意見等があれば、お願いします。 なお、発言の際には委員名もお願いします。</p> <p>〔 質疑・応答 〕</p>
A委員	<p>先ほどの説明での、資料1-1の7ページ④地域ケア会議推進事業での訂正は、地域福祉コーディネーターと社会福祉協議会・市社協の追加でよろしいか。</p>

発言者	内 容
○高齢者福祉課（須藤）	そのとおりです。
A 委員	資料 1-2 R2 地域包括支援センター事業計画の全国平均の表で、去年に比べて佐倉市で減っている理由を説明されたが、佐倉特有の事情があるのか。
○高齢者福祉課（須藤）	事業評価の選出については、年度当初の4月末現在で提出しなければならず、5月から3月までの実施予定についてはその時点でできていないと評価しなければならない。これが要因となっています。
B 委員	<p>介護予防ケアプラン作成の中で目標について、各圏域ごとにあると思うが、この中で表現されているか。</p> <p>2点目は資料5番の中で、相談事例、課題調査用の部分を共有する形で追加して頂きたい。</p>
○高齢者福祉課（須藤）	<p>1点目、ケアプランを作成するにあたっての目標については基本方針の他に仕様を設けている。センターに情報を提供していると同時にホームページにも情報を記載しています。</p> <p>2点目 情報の共有化については、全体の中の方針という記載になっているが、毎月包括支援センターの管理者と会議を行っているので、その中で図れると考えています。</p>
B 委員	参考にできそうな同じような事例を共有できればと思う。
○高齢者福祉課（須藤）	貴重なご意見として検討させていただきます。
C 委員	<p>R3 は相談件数が減った。R4 は相談件数が増えて忙しくなった。</p> <p>R5 についてはどうか。予防関係の相談に対する対応はどのようにお考えか。</p>
○高齢者福祉課（須藤）	<p>相談件数は総合相談の件数でよろしいでしょうか。</p> <p>今年度の1月末の数字では4866件。前年の令和3年度1月末は4219件、今年度は15.3パーセント増となっている。令和3年度の総合相談件数が5100件なので今年度はそれを上回ります。</p> <p>令和5年度については令和3年度よりは増えていくと考えています。</p>

発言者	内 容
C委員	<p>コロナが収まってきたのでさらに増えていくと危惧しているが予防関係が増えた時に対応できるのか。</p>
○高齢者福祉課（開出）	<p>個別の予防ではなく集団を含めてでよろしいでしょうか。 予防活動に関しては、市として with コロナとして対応してきているので地域に出向きながら活動を支援している。新規で立ち上げたいというところには複数回出向く支援を行ったり、地域の高齢者の集まりの中から講座に来てほしいというものや、包括支援センターの方でも積極的に地域に呼ばれて出ていく支援があります。</p>
C委員	<p>個別も同じなのか。</p>
○高齢者福祉課（開出）	<p>通所支援というのがあり、定期的に週に1回場所を設け予防的なアプローチをしているものと、個別の自宅に出かけて行く支援をしています。</p>
D委員	<p>資料1、年間のケアプランの上限数を超えた場合について説明していただきたい。</p>
○高齢者福祉課（須藤）	<p>ケアプランの上限数について。各包括の委託契約の中で3職種が1カ月にできるケアプランの数をひと月当たり10件と決めている。人数分の総数を超えない範囲で対応いただいています。</p>
D委員	<p>数が多いと仕事をしているという印象を持つ。</p>
○高齢者福祉課（須藤）	<p>包括支援センターは業務量が膨大であるため、一つの業務が負担になってはいけないという考えで上限を決めています。</p>
E委員	<p>チェックシート8ページの3医療関係者と合同の事例検討会に参加について。どういう理由でバツなのか。開催されなかったのか、参加できなかったのか。</p>
○高齢者福祉課（須藤）	<p>先程と同様、評価時点が4月末の為、その時点では参加できていないという状況となっている。実際は参加しています。</p>

発言者	内 容
B委員	2025年には60歳以上の認知症高齢者が700万人になるといわれるが、どのように考えているのか。
○高齢者福祉課（須藤）	2025年問題は国からも言われている。この後の議題で介護計画の話があるが、来年度は第9期介護計画をたてる。報告書の方針や地域計画について国の方針も加味しながら考えていきます。
◇副会長	各包括支援センターに対し、佐倉市から来年度の課題として考えていることはあるか。
○高齢者福祉課（須藤）	第8期計画の中で重点施策があるが、来年度は8期計画の最終年度なのでこれを目標とした事業を行っていきます。
F委員	南部地域包括支援センターの看板、案内板を充実させてほしい。
○高齢者福祉課（須藤）	看板設置、分かりやすい誘導について管理者と話をして対処していきます。
◇会 長	<p>議事1については、よろしいでしょうか。</p> <p>貴重な意見もございましたので、本日の意見等も踏まえ、令和5年度の地域包括支援センターを運営するようお願いいたします。</p>
◇会 長	<p>【議事（2）】</p> <p>では、次に「議事2 第9期 高齢者福祉・介護計画策定に向けたスケジュール（案）について」、事務局の説明をお願いします。</p>
○高齢者福祉課（金子）	<p>高齢者福祉課 生きがい支援班の金子です。資料2のご説明をさせていただきます。</p> <p>次期計画 第9期 佐倉市高齢者福祉・介護計画に向けた、厚生労働省の方針、佐倉市で実施を予定している調査につきましては、前回の第3回推進懇話会で概要を説明させていただきました。</p> <p>今回、第9期計画策定の主なスケジュール（案）を作成いたしましたのでご報告いたします。</p> <p>〔以下、資料2 を説明〕</p>

発言者	内 容
◇会 長	<p>ここまでの説明に関して、ご意見、ご質問があれば、お願いします。なお、発言の際には委員名もお願いします。</p> <p>〔質疑、応答〕</p>
◇副会長	<p>前回の包括の評価の中でも各包括の中で孤立、孤独の深まり、複合的な要素をもつ問題があり、高齢者の対策だけではなく地域の福祉計画や他の計画にも及ばせながら、市として全体的に解決できるような方向を取って頂けるよう申し上げた。今回の佐倉市の福祉計画の中で共通する課題の解決を打ち出していけると良いのではないかと。意見として申し上げる。</p>
○高齢者福祉課（金子）	<p>頂いたご意見をもとに進めていきたいと思えます。</p>
◇会 長	<p>第8期の時と時期や内容は大きく変わってはいないのか。</p>
○高齢者福祉課（金子）	<p>時期については昨年度より少し前倒しをしています。</p> <p>業務委託に関しては債務負担行為を設定し、契約行為の方は終わっている。来年度早々から着手できる予定です。</p> <p>国の計画としては8期の計画の内容と大きな変更はない。佐倉市の地域の状況を加味しながら適切に進めていきます。</p>
A 委員	<p>3年間のコロナの影響が従来とは違った形で出てくると思うがどう織り込んでいくか。高齢者福祉課としては国の方針を受け入れるだろうが、現場・包括の状況や一般市民の生活や予防や介護に影響が出てくると思うので、できるだけ目を光らせてほしい。</p>
○高齢者福祉課（金子）	<p>ニーズ調査も行っていく中で市民の意見も拾わせていただきます。</p>
G 委員	<p>1 点目、各種調査を行われると思うが、見える化システムへの登録はされるのか。</p> <p>2 点目、来季の計画で保険者機能の強化が国から示されている。交付金をもらって様々な取り組みをされているが、佐倉市として介護予防の改善などのアウトカムをどのように評価していくのか。それを行うために保険者機能の強化をどのようにしていくのか方針を教えて欲しい。</p>

発言者	内 容
	<p>3 点目、推進懇話会において第 2 回のアンケートの調査結果が現状課題を把握する上であった方がいい。課題の整理のタイミング等、ご意見を聞かせて欲しい。</p>
<p>○高齢者福祉課（金子）</p>	<p>見える化システムへ登録はしたいと思っている。活用していきたい。3 点目の推進懇話会については、いろいろな調査が7 月末で終りを目指しているが難しいかもしれない。頂戴した意見と進捗状況をみて状況を整理していきます。</p>
<p>○介護保険課（植木）</p>	<p>在宅介護実態調査のアンケートについては回収の方が進んでいる。国から示されている目標のサンプル数は超えているが、900 をめどに4 月位に回収が終わる見込みなので、第 1 回 5 月の終わりの会議で速報値として報告し、第 2 回では報告書で報告できると考えています。</p>
<p>○高齢者福祉課（須藤）</p>	<p>2 番目の質問について、交付金は頂いているが市の単独事業、特色を持った事業というところに充当していないという状況。検討していきたい。</p>
<p>◇会 長</p>	<p>第 9 期計画作成は7 月末までに素案を作成することになっている。第 2 回の時にアンケートの結果が反映されにくくなるのではないか。大体の内容は把握されているという意味なのか。修正が9 月から 10 月にあるのでそちらの方に生かされるのか。</p>
<p>○高齢者福祉課（金子）</p>	<p>随時把握している課題と市独自で点検評価をやっているものを基にたたき台をつくる。調査の全体的な評価は日程的には難しい。速報的なものが可能であれば目指したい。</p>
<p>D 委員</p>	<p>資料 2 項目 3 番目の入札状況について教えてほしい。</p>
<p>○高齢者福祉課（金子）</p>	<p>債務負担行為を設定し、すでに制限付き一般入札で行っており、事業者も確定しています。</p>
<p>D 委員</p>	<p>競争入札に応募した業者はいくつあったか。</p>
<p>○高齢者福祉課（金子）</p>	<p>1 者でございました。</p>

発言者	内 容
<p>◇会 長</p> <p>○高齢者福祉課（金子）</p> <p>◇会 長</p>	<p>【 議 事（3）】</p> <p>よろしいでしょうか。</p> <p>では、次の議事3「その他」ですが、事務局からあれば、お願いします。</p> <p>今後、推進懇話会の議事録を作成いたしますので、確認等をお願いいたします。</p> <p>また、次回の推進懇話会は、5月下旬又は6月上旬の開催を見込んでいますので、日時等が決まり次第お知らせいたします。</p> <p>委員の方より、何かありますでしょうか。</p> <p>〔特になし〕</p>
<p>◇会 長</p>	<p>【 議事終了 】</p> <p>以上で本日の議事はすべて終了しました。ご協力ありがとうございました。進行を事務局にお返しします。</p>
<p>○高齢者福祉課長</p>	<p>【 閉 会 】</p> <p>岩淵会長には、議長をお務めいただき、ありがとうございました。</p> <p>また、委員の皆様には、お忙しい中を会議にご出席くださりまして、ありがとうございました。</p> <p>本日が令和4年度 最後の懇話会です。コロナ禍という状況の中、委員の皆様のご尽力、ご協力に感謝申し上げますとともに、来年もよろしくご指導くださいますようお願いいたします。</p> <p>これにて「令和4年度 第4回 佐倉市 高齢者福祉・介護計画 推進懇話会」を閉会いたします。</p>